

中城湾港新港地区東ふ頭岸壁 暫定供用開始 歓迎式

中城湾港 新港地区東ふ頭では、新港地区立地企業の物流効率化を図り、企業の進出を促進する観点から、国内外物流ターミナルとして、岸壁及び泊地等の整備を行っています。この度、水深－11m岸壁の完成及び水深－11m泊地の航路幅240mのうち幅160m部分が完成しました。これにより、東ふ頭への船舶が入港可能となります。

つきましては、暫定供用にあたり、下記のとおり歓迎式を開催する運びとなりましたので、お知らせいたします。

1. 歓迎式の概要

- ・ 日時：平成28年4月23日（土）14：00～15：00
- ・ 場所：うるま市州崎地先（中城湾港 新港地区東ふ頭内）
- ・ 主催：中城湾港開発推進協議会
- ・ 次第：
 - ・ 主催者挨拶
 - ・ 来賓挨拶 等

2. 中城湾港新港地区東ふ頭の概要

- ・ 別添1の通り

3. その他

- ・ 報道関係の皆様には、会場内に隣接した報道関係者専用の駐車場を設置しております。

問い合わせ先

内閣府沖縄総合事務局開発建設部
港湾空港防災・危機管理課
担当者：照屋、名城
TEL：098-866-1906
FAX：098-861-9916

中城湾港 新港地区東ふ頭の概要

1. 整備の概要

中城湾港は、沖縄本島中南部の東海岸に位置する天然の良港であり、古くから沖縄における物資輸送の中継点及び周辺離島への連絡港として利用されてきました。昭和46年7月には、琉球政府が管理する特定港湾に指定され、その後、沖縄県の本土復帰を経て、昭和49年4月に重要港湾に指定されています。

新港地区は、沖縄県における物資の円滑な流通を確保するとともに産業の振興、雇用機会の創出、産業構造の改善並びに県土の均衡ある発展に資するため、流通機能及び生産機能を併せ持った流通加工港湾として整備を進めています。

新港地区東ふ頭では、新港地区立地企業の物流効率化を図り、企業の進出を促進する観点から、国内外物流ターミナルとして、岸壁及び泊地等の整備を行っています。

この度、水深－11m岸壁の完成及び水深－11m泊地の航路幅240mのうち幅160m部分が完成しました。これにより、東ふ頭への船舶が入港可能となります。今後は、水深－11mの航路幅残り80m部分の浚渫を行うことで完成となります。

2. 施設概要

国 施 工：岸壁(水深－11m)1バース、泊地(水深－11m)

沖縄県施工：岸壁(水深－7.5m)6バース

3. 東ふ頭の状況

新港地区東ふ頭 俯瞰写真

